

産地リスク軽減技術総合対策事業（省資源・省エネ生産技術確立支援  
（省資源生産技術確立支援事業））に関する事業評価票

都道府県名 市町村名	静岡県下等	
事業実施主体名	新肥料開発検討推進協議会	
事業の概要	ゼラチン製造過程で排出される未利用資源(コラーゲン資材)は、多くの窒素を含んでいるため、本資材を原料とした安価な窒素質肥料の実用化に向け、新規肥料の試作試験や栽培試験等の検証を実施。	
成果目標の 具体的内容	肥料費を慣行と比べ5%以上削減	
成果 目標 の 達成 状況	基準年 (平成28年)	静岡県の施肥基準に基づいて栽培した場合の肥料費 白菜(一作) 43,000円/10a コマツナ(一作) 48,250円/10a
	目標年 (令和元年)	静岡県で栽培された白菜、コマツナの肥料費を慣行栽培と比べ5%以上削減
	目標値	白菜(一作) 40,850円/10a コマツナ(一作) 45,837円/10a
	達成率	「製品化の可能性」を試し、肥料的価値を確認。
生産局長の意見	新規肥料の実用化に向けての栽培試験において効果を検証し、製品化の可能性を示したことにより、肥料的価値は示された。しかし、事業開始後の社会環境の変化により、現状では原料調達が困難であるが、将来の状況改善を否定することはできず、さらに代替原料の確保に向けての努力も続けられているため、成果目標は達成したものとして取り扱う。	

産地リスク軽減技術総合対策事業（省資源・省エネ生産技術確立支援  
（省資源生産技術確立支援事業））に関する事業評価票

都道府県名 市町村名	富山県射水市	
事業実施主体名	いみず野農業協同組合 「もみ殻循環プロジェクトチーム」	
事業の概要	籾殻には、稲の健全な成長に欠かせないケイ酸が多く含まれているため、エネルギー利用した後の籾殻燃焼灰を原料とした安価なケイ酸質肥料の実用化に向け、新規肥料の試作試験や栽培試験等の検証を実施。	
成果目標の 具体的内容	肥料費を慣行と比べ10%以上削減	
成果 目標 の 達成 状況	基準年 (平成28年)	スーパーエスアイカリ（土壌改良資材） ・ 60 kg / 10a 施用 ・ 1,800 円 / 20 kg / 袋で販売 ・ 5,400 円 / 10a ・ 可溶性ケイ酸 23%含有
	目標年 (令和元年)	可溶性ケイ酸 10%含有肥料を追肥散布することにより、土壌改良資材の施用量を約 14.5%削減  籾殻燃焼灰肥料（新規肥料） ・ 20 kg / 10a 施用 ・ 可溶性ケイ酸 10%含有  スーパーエスアイカリ（土壌改良資材） ・ 51.3 kg / 10a 施用 ・ 基準年と同等の価格（1,800 円 / 20 kg / 袋）で販売 ・ 4,617 円 / 10a ・ 可溶性ケイ酸 23%含有
	目標値	4,860 円 / 10a
	達成率	FAMIC の指示に基づき、新規肥料の仮登録に向け試験を実施中。
	生産局長の意見	目標までの取組計画の見通しが甘く、目標達成には至っていないが、新規肥料の登録に向け、着実に進んでいることから、引続き事業を実施することで目標の達成は可能と考える。